

I. 広東省

1 馬興瑞・省長率いる代表団が欧州を訪問

●14日～16日、馬興瑞・省長率いる代表団がチェコを友好訪問し、南モラヴィア州と広東省の友好交流を推し進め、中国とチェコの地方協力を深めた(4月18日付「南方日報」1面)。

●16日～20日、馬興瑞・省長率いる代表団がドイツを友好訪問した。ドイツ訪問中、馬興瑞・省長はルース・バウム・ドイツ連邦経済エネルギー省次官、エリック・シュバイツァー・ドイツ商工総会主席、フランツ・ヨーゼフ・プシラー・バイエルン州経済エネルギー技術部々長とそれぞれ会見し中国・ドイツ間の経済協力インダストリー4.0などについて話し合った(4月21日付「南方日報」1面)。

※インダストリー4.0とは、ドイツが産官学共同で推し進めている国家プロジェクトで、第4次産業革命を意味する。ITを製造業に応用しモノづくり革命を起こし、ドイツの輸出競争力の拡大を図ることを目的にしている(4月21日付「南方日報」1面)。

2 浙江省党・政府代表団が広東省を視察

●16～17日、浙江省党・政府代表団が広東省を視察し、李希・広東省書記、車俊・浙江省書記、袁家軍・浙江省長、王栄・広東省政協主席、葛慧君・浙江省政協主席が関連の活動に参加した。浙江省代表団は、深セン市と広州市で、前海蛇口自由貿易試験区、二沙島、花城広場、広州タワー、テンセント、海梁科技(自動運転)、励豊文化(オリンピック開幕式などで、設備と技術サービスを提供する会社)などを視察すると共に、蓮花山公園で鄧小平の銅像を視察した。任学鋒・広州市書記、王偉中・深セン市書記、林少春・広東省常務副省長、江凌・広東省党秘書長、陳如桂・深セン市長、鄭栅潔・寧波市書記、陳金彪・浙江省党秘書長、周江勇・温州市書記、李衛寧・浙江省人代副主任、朱從玖・浙江省副省長、徐立毅・杭州市長が同行した(4月18日「南方日報」1面)。

3 東莞市が高汚染企業の50%を今年中に淘汰

●18日午前、東莞市が青空防衛戦動員大会を招集した。産業構造の調整で、東莞市は年末までに汚染物質の排出が多い企業の50%とぼつんと一つだけ散らばり、違法な建築や創業を行い、基準を超える汚染物質を排出している企業5,000社を淘汰する任務を確実にを行い、新興産業発展のための環境スペースをあけておく。同時に東莞市政府は各部門町村と「軍令状」を結び、「リスト式」の責任書を通じて青空防衛戦の配置を行った(4月19日付「南方日報」5面)。

4 海南省代表団が広東省を視察

●17日～19日、海南省代表団が広東省を視察し、李希・広東省書記、劉賜貴・海南省書記

が関連の活動に参加した。海南省代表団は、広州市、珠海市、深セン市で、グローバル貿易センター、天河区中央ビジネスエリア、南沙自由貿易試験区、横琴自由貿易試験区、テンセント、南方科技大学、前海蛇口自由貿易試験区などを視察した。任学鋒・広州市書記、王偉中・深セン市書記、江凌・広東省党秘書長、欧陽衛民・広東省副省長、温国輝・広州市長、胡光輝・海南省党秘書長、史貽雲・海南省政協副主席が同行した（4月20日付「南方日報」1面）。

5 菜鳥がオーストラリアへの海運路線を開始

●18日、菜鳥物流はオーストラリアへの大型貨物物流の海運路線を正式に始めたと発表した。菜鳥物流は、これにより少なくとも3分の1のコストを抑えることができ、輸送期間も現在の1ヶ月から15日前後に短縮されると述べた（4月20日付「南方日報」15面）。※菜鳥は2013年5月28日に設立された、アリババグループ、銀泰グループが復星グループ、富春ホールディングス、三通一達（申通、圓通、中通、韻達）の各宅配事業者を指している）と共同で立ち上げた物流ネットワークを提供するプラットフォーム。董事長は馬雲で、張勇・アリババCEOがCEOを務めている。

II. 広州市

1 広州市党・政府代表団が深セン市を視察研究

●19日、任学鋒・広州市党書記と温国輝・広州市長、陳建華・広州市人代主任、劉悦倫・広州市政協主席率いる広州市党・政府代表団が深セン市に赴き、改革開放の推進、イノベーションによる発展、都市管理、党の建設などの先進的経験と方法を視察・研究し、王偉中・深セン市党書記、陳如桂・深セン市長と意見交換した（4月20日付「広州日報」2面）。

2 李希・広東省書記が広州市を視察

●21日、李希書記が従化区を訪れ、農村や革命記念館を視察し、江凌・省党秘書長、曾志権・省統一戦線部長、温国輝・広州市長が同行した。

III. 深セン市

1 5月下旬に深セン－ダーウィン間の直行便が新規就航

●（深セン）東海航空が来月深セン－オーストラリア・ダーウィン間（毎週水曜日と日曜日に運航）の直行便を5月30日から新たに就航させる。（4月20日付「深セン特区報」6面）。

2 深セン大学がPCT（特許協力条約）に基づく特許申請数で世界の高等教育機関中第11位

●世界知的所有権機関（WIPO）が公表した2017年世界各国・企業によるPCT特許申

請に関するデータによれば、深セン大学のPCT申請件数は265件、PCT特許申請公開件数は108件で、世界の教育機関で第11位となり、中国の大学では1位だった(4月20日付「深セン特区報」6面)。

※2017年の世界のPCT特許申請件数は243,500件で、2016年に比べ4.5%の増加。2017年の教育機関による申請件数のトップはアメリカ・カリフォルニア大学で482件。中国では深セン大学に次いで、中国鉱業大学が15位(99件)、清華大学が19位(90件)であった。

IV. 海南省

1 海南省への旅行は59の国々を対象にビザを免除

●18日、公安部は国務院の許可を経て2018年5月11日から59の国々に対して海南省への観光目的での渡航についてビザを免除し、ノービザでの滞在期間を30日間とすると公表。今日の措置により、海南省の全面的な改革開放が更に後押しされることが期待される(4月19日付「南方日報」2面)。